



日本計算機統計学会

Japanese Society of Computational Statistics

NEWS LETTER

〒101-0061 東京都千代田区神田神保町3-6 池袋書院ビル5F (公財)統計情報研究開発センター内
Tel./Fax: 03-3254-7580 E-mail: office@jscs.jp URL: http://www.jscs.jp/

No. 75
2022. 4. 12



第36回大会のお知らせ

第36回大会実行委員長
神奈川大学 兵頭 昌

日本計算機統計学会第36回大会を、2022年5月21日(土)～22日(日)に愛媛県県民文化会館において開催させていただきますことになりました。

日程: 2022年5月21日(土)～5月22日(日)

開催形式: ハイブリット形式(大会を現地開催とし、補助的にオンライン会議システムを用いる)

場所: 愛媛県県民文化会館 本館

URL: <http://jscs.jp/conf/taikai36/>

本大会の会場である愛媛県県民文化会館は、愛媛県松山市にございます。開催地の松山市は、俳人の正岡子規や高浜虚子の生地であることや子規の友人である作家、夏目漱石の書いた『坊っちゃん』の舞台となっていることから、文化の街としても広く知られております。また、会場に近い道後温泉も、聖徳太子も浸かったといわれている日本最古の名湯であり、『万葉集』、『日本書紀』、『源氏物語』にも登場し、全国にその名を轟かせております。是非道後温泉に浸かっていただき、日頃の疲れを癒していただけたらと考えております。このような歴史・文化の魅力あふれる松山に計算機統計学における気鋭の皆様が一堂に会し、活発な議論のできる「場」を提供できればと考えております。

尚、大会内では、滋賀県衛生科学センター・井上英耶氏による特別講演を予定しております。さらに、ロバストベイズ統計に関する特別セッションなどを企画しております。ご期待ください。

懇親会は、松山市で創業390年のふなや旅館にて開催させていただきます。本会場は、夏目漱石・正岡子規といった文豪や歴代の天皇陛下もご宿泊された伝統の趣と幽韻な息吹が薫る温泉旅館です。美しい庭園を眺めながら、旬の素材を生かした懐石料理とお酒を是非ご堪能ください。本年会が有意義なものとなりますよう関係者一同開催にあたり鋭意努力し

てまいりたいと存じます。次世代の計算機統計学を担う若手を育成し、かつ、実り多い大会を実施したいと考えております。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

お問い合わせ先:

日本計算機統計学会 第36回大会事務局

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学 経済学部経済学科 兵頭 昌

E-mail: taikai36@jscs.jp

第35回シンポジウムの報告

第35回シンポジウム実行委員長

慶應義塾大学 星野 崇宏

日本計算機統計学会第35回シンポジウムは、2021年11月27日(土)～28日(日)の日程で、慶應義塾大学三田キャンパス(東京都港区)にてハイフレックス形式で開催されました。シンポジウムの参加者は対面参加64名、オンライン参加45名の合計109名(申込実績)であり、特別講演が1件、特別セッションが3件、一般セッションが11件、学生研究発表が14件、ソフトウェア・デモセッションが1件、合計30件の発表が行われました。また、6社に協賛をいただき、特に4社には展示ブースへの出展をいただきました。初日は主に学生研究発表を中心にセッションが組まれ、4件の発表が学生研究発表賞として選ばれました。

2日目は午前中に慶應義塾大学の林賢一先生がオーガナイズされた医療ビッグデータに関連する特別セッションが行われ、林先生による二値判別の新しい比較指標のご提案の報告、慶應義塾大学の八重樫昇吾氏らによるレセプトデータを用いた新型コロナウイルス感染症の重症化予測に関するご報告、東京医科歯科大学の高橋邦彦先生による医療ビッグデータ時代の統計家の役割についてのご講演が行われました。続けて東京大学の和泉潔先生の特別講演「オルタナティブデータ融合により社会経済の動向をいち早く捉える」が行われました。この講演では公的統計の問題点を解決する位置情報や金融分野の専門家によるテキストデータなどの種々のオルタナティブデータの有用性と利用の実例、課題

がわかりやすい形で紹介されました。続けてソフトウェア・デモセッション、また午後には一般セッションの研究発表が行われ、活発な議論がなされました。

今回のシンポジウムは、春の第35回大会に引き続いて、対面とオンラインのハイフレックス形式での開催となりましたが、都内開催ということもあり対面参加の方も多くみられ、また、協賛企業の展示ブース出展もあり、対面での交流もみられる会となりました。

思えばこの2年、コロナ禍で研究者同士、また協賛企業との対面での交流が困難な状況ではありましたが、感染状況が落ち着いている中で開催出来たことで様々な交流が行われたことは大変喜ばしいことであると感じております。また、開催形態としてはアフターコロナにおける一つのモデルケースとなるような大会であったようにも考えております。

最後になりますが、本シンポジウムの座長、ご講演をお引き受けいただきました方々、ご協賛を賜りました企業様、そして、ご参加いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。重ねて、シンポジウム実行委員の先生方及びお手伝いいただきました慶應義塾大学の学生の皆様、ご後援いただきました慶應義塾大学経済研究所に深く感謝申し上げます。

若手セミナーの報告

若手奨励理事

筑波大学医学医療系 丸尾 和司

日本計算機統計学会では、従来学会として力を入れてきた学生奨励をさらに推進し、2017年から、大学院生などの若手を対象とした合宿形式の若手セミナーを開催しています。第5回目となる2021年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、当初予定していた対面開催を断念し、2020年度に引き続きZoomを用いたオンライン形式での若手セミナーを2021年9月3日(金)、4日(土)に実施いたしました。例年は学生のみでの発表としていましたが、2021年度は学生でない若手研究者にも枠を広げて発表者を募りました。参加者は若手研究者15名(うち会員13名)、その他正会員10名でした。セミナーでは、若手研究者によるライトニングトーク15件、一般研究発表9件の発表が行われました。これまでの若手セミナーの伝統を引き継ぎ、一般研究発表については1件あたり35分という、通常の学会発表よりも長めの時間を用意し、うち半分程度は質疑・議論の時間にあてて参加者間の議論や交流を促しました。また、夜に開催したオンライン懇親会では、Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用し、様々な所属や立場の人が交流する機会となりました。

盛会となりましたのはひとえにご参加いただいた皆様、また準備・開催にご尽力いただいた先生方のお陰です。ここにお礼を申し上げます。今後とも若手セミナーをどうぞよろしくご依頼申し上げます。

2021年度セミナー実施報告

2021年度に2回の計算機統計セミナー(および1回の準備講座)を下記のとおり開催しましたので、報告します。

•Python 準備講座

日時:12月16日(木)10:00~12:00

開催形式:Zoomを利用

表題:はじめてのPython

講師:谷岡 健資 先生(同志社大学)

参加者:25名

セミナー内容:Python の使用方法を説明し、統計解析を実施する前の準備として必要なデータ・ハンドリングの技術の詳細を説明しました。

•2021年度第1回計算機統計セミナー

日時:12月16日(木)14:30~17:00

開催形式:Zoomを利用

表題:Pythonを利用した統計解析レポート作成[実習付き]

講師:谷岡 健資 先生(同志社大学)

参加者:21名

セミナー内容:Python を利用してデータ解析や集計方法、レポートの自動作成方法についてとり扱った。とくに、定期的なレポートを作成するような場合にレポート自動化が有効であること等を実際のデータを用いて説明した。

•2021年度第2回計算機統計セミナー

日時:12月19日(日)13:00~16:30

開催形式:Zoomを利用

表題:Pythonを用いた統計解析、機械学習の演習

講師:大草 孝介 先生(横浜国立大学)

参加者:8名

セミナー内容:Python を用いたデータ解析と機械学習の手法について、予測・分類の2つの観点から説明した。とくに分類木や深層学習について演習を実施した。

学生研究発表賞受賞者より

第35回シンポジウムで学生研究発表賞を受賞された方よりコメントを頂きましたので、ご紹介いたします。

「学生研究発表賞」を受賞して

東京大学大学院医学系研究科 塘 由惟

この度は、日本計算機統計学会第35回シンポジウムにて学生研究発表賞という栄えある賞を頂き大変嬉しく思います。審査していただいた先生方ならびに、発表時にご助言くださった先生方、運営に携わっていただいた関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。また、今回発表した研究をご指導いただいております東京大学大学院情報学環の小川光紀先生をはじめ、日頃から活発な議論とご指導をいただいております東京大学大学院医学系研究科生物統計学研究室の先生方と学生の皆様、医学研究における統計解析の経験を数多く積ませて頂いている国立精神・神経医療研究センター生物統計解析室の皆様にも心より感謝申し上げます。

今回私は「ロジスティック回帰における Firth の罰則付き最尤法に基づく信頼区間構成法の改良」というタイトルで発表させていただきました。ロジスティック回帰モデルにおいて、分離とよばれる状況では最尤推定量が存在しないことが知られています。このような状況の対処法として Jeffreys 事前分布による罰則を尤度に課した罰則付き最尤法が知られ、Firth の罰則付き最尤法とよばれています。Firth の罰則付き最尤法を用いると一定の条件下で必ず有限の推定値が得られます。しかし、R や SAS など既存のソフトウェアを用いてこの手法に基づく(罰則付き)プロファイル尤度信頼区間を構成する際に、収束に多くの時間を要することや収束しないことがあります。これは、既存の実装では反復法での二次近似において罰則付き対数尤度ではなく通常の対数尤度のヘッセ行列が用いられていることから局所二次近似が良好でないことが原因の一つであると考えられました。本研究では、罰則付き対数尤度そのもののヘッセ行列を用いることによる計算法の改良を行いました。この際に、罰則付き対数尤度のヘッセ行列の表現のひとつを用いて一般にはヘッセ行列が正則でないことを示し、反復法で単にヘッセ行列を置き換えるだけでなくステップの選択方法にも改良を加えました。数値実験と実際の観察研究データへの適用を通して、改良した計算法は既存法と比較してより短い時間で実行することができ、既存法が収束しないケースでも計算が収束することが確認できました。

今回の受賞を励みに、より一層精進していく所存です。日

本計算機統計学会のさらなる発展に微力ながらも貢献していけましたら幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「学生研究発表賞」を受賞して

東京大学大学院教育学研究科 若井 大成

この度は、日本計算機統計学会第35回シンポジウムにて学生研究発表賞をいただき、大変光栄に存じております。審査に関わってくださった先生方をはじめ、本大会を運営してくださった皆様に心より御礼申し上げます。また、平素より熱心にご指導くださっている岡田謙介先生をはじめ、発表練習において多くのアドバイスをくださいました研究室の皆様にも深く感謝申し上げます。

本発表では、「説得の受容過程の認知モデリング」というタイトルで発表させていただきました。社会心理学では、「説得の受け手がどのような状態のときに、どのような説得が受け入れられやすいか」という疑問を解決するため研究が蓄積され、その認知プロセスを表現する叙述モデルが提唱されてきました。しかしながら、実際の実験データを分析する際には、このモデルが表現する認知プロセスや実験で提示する説得メッセージの異質性などが考慮されることはありませんでした。本研究では、これらの要因を組み込むことで、実験データをより適切に分析できる統計モデルを提案いたしました。また、マルコフ連鎖モンテカルロ法を用いた計算機シミュレーションによって、提案した統計モデルが十分な推定精度を有していることを示しました。

心理学分野において、統計モデリングは未だ主流な手法であるとは言いがたいですが、今回の受賞は、このような研究の重要性を再認識する機会を私自身に与えてくださいました。今回の受賞を励みとして、より一層精進していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

「学生研究発表賞」を受賞して

東京理科大学大学院理学研究科 鈴木 滉朗

この度は、日本計算機統計学会第35回シンポジウムにおいて、学生研究発表賞という栄えある賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。審査をしてくださいました先生方をはじめ、本シンポジウムの関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。また、平素より熱心にご指導していただいております指導教員の村上秀俊先生、研究室の先輩で共著者としてご協力いただきました山口光様、そして研究室の皆様方に心

から感謝申し上げます。

本発表では、一部のデータ間に相関をもつクラスターデータに対して、新たな2標本順位検定を提案し、その漸近正規性の証明と検出力比較を行いました。クラスターデータに対しては主にロケーション問題について考えられてきましたが、これらの手法はスケールの変化に対応できませんでした。本発表では、順位検定の一つであるムード検定を拡張し、スケールの変化に対応したクラスターデータに対する検定を提案しました。データの独立性を仮定した古典的なムード検定と比較して、提案手法は相関をもつクラスターデータに対して良い性能をもつことを示しました。

今回の受賞は、今後統計学に携わっていくための大きな自信に繋がりました。またコロナ禍でありながら、十分な感染予防対策のもと、現地にて発表する機会を設けていただけたこと、大変嬉しく思います。すべての関係者の皆様方に改めて御礼申し上げます。この貴重な経験を励みとして、より一層精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

「学生研究発表賞」を受賞して

慶應義塾大学大学院経済学研究科 太田 悠太

この度は、日本計算機統計学会第35回シンポジウムにて学生研究発表賞をいただきまして、大変光栄に存じます。審査していただいた先生方をはじめ、本大会の運営に携わって下さった皆様方に心より御礼申し上げます。また、平素よりご指導いただいている星野崇宏先生、並びに本研究に関してアドバイスを下さいました研究室の皆様にも深く感謝申し上げます。

本発表では「参照価格効果を考慮した複数財の同時購買モデリング」というタイトルで発表させていただきました。この研究では、消費者の補完財の購買意思決定において参照価格効果の波及(ある商品の参照価格が、補完関係にある別商品の購買意思決定に影響する)が存在するという仮説を検証しました。検証にあたっては、多変量プロビットモデルを基調として参照価格効果の波及を明示的に組み込んだ複数財同時購買モデルを提案し、スキャナーパネルデータを用いた実証分析を行いました。

実証分析の結果から、参照価格効果の波及により、ある商品に値下げを行うと補完関係にある別商品に利得が波及して購買確率を高くする一方で、大きな値引きを行った場合は参照価格の下落により長期的に補完関係にある商品の購買確率が減少するという関係を示しました。また、売上最大化を

行う最適値引き戦略により、参照価格の波及を考慮するか否かで最適な値引き点が変わることを示しました。これらの結果から、企業が価格プロモーションを行う際には、商品間の補完関係によって生まれる波及効果を考慮しなければ、意図しない購買抑制を引き起こす可能性があることを示すことができたと考えております。

この受賞を励みとし、より一層精進していく所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

学会からのお知らせ

日本計算機統計学会 2021年度第1回ネット理事会議事録

■日時:2021年10月9日(土)~10月31日(日)

(メーリングリストによる審議)

●審議事項

10月1日までの会員の異動について、審議の結果、反対なく承認された。

日本計算機統計学会 第85回(2021年度第2回)評議員会議事録

■日時:2021年11月26日(金) 15:30~16:30

■場所:慶應義塾大学三田キャンパスとZoomでのハイブリッドによる開催

■出席者(敬称略, 会長・副会長以外は五十音順):

小木しのぶ(会長:議長),
山本義郎, 宿久 洋, 渡辺敏彦(副会長),
足立浩平, 阿部貴行, 飯塚誠也, 石岡文生, 石橋雄一,
五十川直樹, 大石雅彦, 大草孝介, 岡田謙介,
鎌倉稔成, 河合統介, 栗原考次, 坂本 亘, 佐藤耕一,
塩谷順彦, 篠津和夫, 瀬尾 隆, 田澤 司, 月田あづさ,
道家映幸, 富田 誠, 中川重和, 藤澤正樹, 丸尾和司,
山縣清壮

委任状提出:

久保田貴文, 下川敏雄, 竹内光悦, 永久保太土,
橋口博樹, 藤野友和, 米山昭成

陪席理事:

大槻成章, 小田牧子, 川崎玉恵, 桜井裕仁, 杉本知之,
兵頭 昌, 星野崇宏, 水田正弘, 村上秀俊, 森 裕一,
山田隆行

●定足数の確認

評議員会定足数18名(過半数の出席)に対し、出席者と委任

状提出者数の合計が定足数を上回っていることが確認された。

●報告事項

◆1. 会員の異動(2021年度 第1回ネット理事会)について
大草 庶務理事より2021年10月1日10:00事務局受け付け時点での2021年4月12日～2021年10月1日の会員の異動状況について報告がなされた。

◆2. 和文誌について

富田 和文誌編集理事より、和文誌の活動状況について報告がなされた。報告内容は以下の通り:

1) 投稿規定の改定(8月下旬の和文誌編集委員会で決定)について:10月25日発行の34巻1号に掲載済み、今後準備が整い次第Webページにも掲載する。

2) 雑誌発行について:2021年度は32巻2号,33巻1号,33巻2号,34巻1号の4冊を発行となる。33巻2号が原著1件,総合報告1件,34回大会報告。34巻1号が会長挨拶,原著論文2件,34回シンポジウム報告,投稿規定と執筆要項の変更。34巻2号は現在編集作業中で原著1件,ソフトウェア1件,35回大会報告を予定している。採択が間に合えば総合報告も掲載予定で同号は22年1月から2月に発行を予定している。84回評議員会で説明した予算執行のずれ解消と発行の遅延解消については調整ができてきており,22年度に34巻2号,35巻1号,35巻2号を発行することで解消する見込み。

3) 特集号について:特集「災害関連データ解析」について締め切りが12月20日であり投稿募集中であり,NL等を通じて告知済み。奮ってご応募いただきたいとのこと。

4) 査読状況について:採択は34巻2号掲載分として原著1件,総合報告1件,ソフトウェア記事1件。査読中は原著8件総合報告6件となる。

今後も特集を予定しており,アイデアがあれば和文誌編集委員会へご連絡いただきたいとのこと。

◆3. 欧文誌について

宿久 欧文誌(JJSD)編集理事より,JJSDの投稿状況について報告がなされた。報告内容は以下の通り:

1) 発行状況について:第4巻1号(掲載論文数26件),第4巻2号(掲載論文数24件)が発行された。

2) JJSDの女性AEについて:2021年9月9日時点で,AE等で女性は3名(国内1名)だったが,2021年10月18日で現在推薦等により女性は25名になり,女性比率は19%となった。

◆4. 広報活動について

飯塚 広報理事より広報活動の状況について報告がなされた。報告内容は以下の通り:

1) 広報活動について:Webページの更新,ドメインの管理,メールニュースについて例年通り実施した。

2) WebページのSSL対応について:コンテンツのテストサイトへの移行,広報委員の先生の点検が完了し,現在コメントを元に修正中。2021年12月15日午前中に管理会社(チロネット)による移行作業が実施される予定。

◆5. 渉外活動について

小田 渉外理事より,渉外活動について報告がなされた。ニューズレターと和文誌の広告依頼を実施しており,連合大会はオンラインなのでブース展示などは実施しなかった。

◆6. 第35回大会の報告

藤澤 第35回大会実行委員長より,2021年6月3日～4日に別府国際コンベンションセンターにてハイブリッドで開催された第35回大会の報告がなされた。報告内容は以下の通り:

1) 大会参加者数:185名

2) 講演数:

- ・特別講演 2件
- ・特別セッション 15件
- ・一般 16件
- ・学生 15件
- ・スタディー・グループ 8件
- ・ソフトウェア 2件

の合計58件となった。詳細についてはニューズレターを参照頂きたいとのこと。

◆7. 統計関連学会連合理事会・組織委員会の報告

小木 会長より統計関連学会連合理事会・組織委員会の報告がなされた。報告内容は以下の通り:

1) 連合理事会について:連合大会直後2021年9月9日に開催され,大会の報告と来年の大会について報告がなされた。同理事会でJJSDについても報告があったが,こちらは宿久先生より報告済み(3. 欧文誌についてを参照)。

・大会報告:2021年9月5日～9日にオンラインで開催され,参加者は881名となった。

・来年度大会:来年度は成蹊大学で開催(小森先生が実行委員長)される。JSCSからは

・プログラム委員:兵頭先生(神奈川大学),中村先生(札幌学院大学)

・運営委員:阿部先生(京都大学),谷岡先生(同志社大学)に担当頂けることとなった。

◆8. 若手セミナーの報告

丸尾 若手奨励理事より2021年9月3日～4日にオンラインで開催された若手セミナーについて報告がなされた。報告内容は以下の通り:

- 1) 参加者:若手研究者 15 名 (うち会員 13 名), 正会員 10 名
- 2) 発表件数:ライトニングトーク 15 件, 一般研究発表 9 件

◆9. 2021 年度 計算機統計セミナーについて

藤澤 企画理事より2021年度の計算機統計セミナーについて報告がなされた。報告内容は以下の通り:

- 1) Python 準備講座「はじめての Python」および第 1 回「Python を利用した統計解析レポート作成[実習付き]」を2021年12月16日に開催する(講師:谷岡健資氏(同志社大学))
- 2) 第 2 回「Python を用いた統計解析, 機械学習の演習」を2021年12月19日に開催する(講師:大草孝介氏(横浜市立大学))。

また, 料金体系がわかりにくかったため, 変更を行った旨も報告がなされた(午前午後参加すると割引としていたものを, 新たに1日コースを用意した)。

◆10. 第36回大会の進捗状況

兵頭 第36回大会実行委員長より愛媛県民文化会館(愛媛県, 2022年5月21日～22日)で開催される第36回大会の準備状況について報告がなされた。評議員会は前日の5月20日に開催される。また, 懇親会場などについても紹介がなされた。

◆11. その他

特になし

●審議事項

◆1. 2020 年度 スタディー・グループ活動報告について

大草 庶務理事より2020年度(2020年6月～2021年5月)のスタディー・グループ(4件)の活動報告について説明がなされ, 審議の結果承認された。報告があったスタディー・グループは以下の通り。

・「スポーツアナリティクスの進化に向けた計算機統計学的方法の開発と応用」(研究代表者:酒折文武)

・「機械学習による効果とリスクの抽出とその評価」(研究代表者:中村将俊)

・「IR(Institutional Research)のための統計的モデル構築に関する研究」(研究代表者:藤野友和)

・「データ解析の解析事例の公開と解析ソフトウェアの利用方法に関する研究」(研究代表者:山本義郎)

◆2. 2022 年度 新入会員キャンペーンの実施について

大草 庶務理事より2022年度の新入会員入会キャンペーンについて説明がなされ, 審議の結果承認された。内容は2021年度と同様のものになる。

◆3. 第36回シンポジウムについて

山本 副会長の代理で富田 先生より第36回シンポジウムについて富山県で実施する予定である旨説明がなされ, 審議の結果承認された。2022年11月26日～27日に富山国際会議場で開催され, 25日に評議員会を富山県民会館で開催する。ハイブリッドで実施予定。

また, 山本副会長を企画理事(大会担当)とすることについても承認された。

◆4. 2023～2024 年度 会長・副会長・評議員選挙について

大草 庶務理事より2023～2024年度 会長・副会長・評議員選挙の予定および選挙管理委員の候補について説明がなされ, 審議の結果承認された。日程は

- ・2021年11月26日 選挙管理委員 決定(本評議員会)
- ・2022年3月末まで 会長・副会長候補者推薦依頼(各会員宛)
- ・2022年4月下旬 所属枠確認(ニューズレター発送時に依頼)
- ・2022年5月中旬 会長・副会長候補者選出(第86回評議員会にて審議)
- ・2022年7月 会長・副会長選挙, 評議員会選挙(投票用紙郵送)
- ・2022年9月上旬 投票締切, 開票
- ・2022年10月 結果報告, ニューズレターによる告知
- ・2022年11月 新・評議員会(第36回シンポジウム終了後, 次期理事選出)

で実施される。承認された選挙管理委員は

A 枠: 今田一希 氏(横浜市立大学)

B 枠: 池谷利治 氏(テルモ(株))

の2名。

◆5. その他

特になし

●連絡事項

◆1. 第35回シンポジウムについて:

星野 第35回シンポジウム実行委員長より, 11月27日より開催される第35回シンポジウムについて説明がなされた。

◆2. その他

宿久 副会長より, 2022年に開催される IASC-ARS の告知がなされた。発表申し込み可能なので奮って投稿いただき

たいとのこと。

新入会員(敬称略, 申請日順)

【正会員】

【学生会員】

【賛助会員】

アレックスメディア(株)

現会員数(2021年10月1日現在)

正会員数(国内・海外)	478
学生会員	75
賛助会員	23
合計	576

学会・研究会のお知らせ

【開催予定一覧】

【国内】

・日本計算機統計学会 第36回大会

会場: 愛媛県民文化会館 本館

日程: 2022年5月21日(土)~22日(日)

<http://jscs.jp/conf/taikai36/>

・2022年度 統計関連学会連合大会

会場: 成蹊大学(予定)

※コロナ禍の状況を確認しつつ, 開催方式については現在検討中です。

日程: 2022年9月4日(日)~8日(木)

(9月4日(日))は, チュートリアル・市民講演会のみ。)

<http://www.jfssa.jp/taikai/2022/>

【国外】

・useR! 2022 : The R Conference

会場: online

日程: 2022年6月20日(月)~23日(木)

<https://user2022.r-project.org>

・The 15th International Conference of the ERCIM WG on Computational and Methodological Statistics (CMStatistics 2022)

会場: King's College London, UK. + online (hybrid)

日程: 2022年12月17日(土)~19日(月)

<http://cmstatistics.org/CMStatistics2022/>

◆2022年度計算機統計セミナーについて

日本計算機統計学会では, 計算機統計学の普及・発展の一環として, 2009年より計算機統計セミナーを実施しております。今年度のセミナーにつきましては現在企画中ですが, 決まり次第以下の URL および, メールニュースにて随時お知らせいたします。

<https://jscs.jp/学会の活動/セミナー/>

和文誌編集委員会からのお知らせ

◆特集「複雑データ解析」の論文募集について

和文誌編集委員会では, 和文誌『計算機統計学』における特集として「複雑データ解析」に関する論文投稿を受け付けます。

近年, 情報技術の発達に伴ってデータが大規模かつ複雑になり, データから目的に応じた情報を抽出し, 探索的に特徴を把握する必要性がますます高まっています。また, 心理学や医学, 生命科学, 経営学, スポーツ科学等の様々な分野で観測される複雑データに関する解析は, 日本計算機統計学会の大会やシンポジウムでも報告されることが増えつつある内容の1つです。

このような状況を鑑みて、本特集では、

- ・複雑データを解析するための新たな分析法の提案
- ・実際の複雑データを用いた実証分析
- ・複雑データを解析するための統計解析ソフトウェアの開発や活用方法

・複雑データのための解析方法に関するレビュー

など、計算機統計学の発展に寄与すると考えられる投稿を募集します。多くの投稿が寄せられますことを期待します。

なお、本特集の投稿論文の採否は、通常の査読プロセスにより決定されます。

投稿期限:2022年9月30日

募集する投稿区分:すべて(原著論文, 総合報告, ソフトウェア記事)

投稿区分に関する詳細は、投稿規定を参照ください。

発行:2023年5月(予定)

原稿送付先:論文投稿・査読システム

<https://www.editorialmanager.com/bcsj/>

オーガナイザー:谷岡健資(同志社大学)

本特集に関する問い合わせ先:wabun-cmplx@jscs.jp

◆投稿規定等の改訂のお知らせ

和文誌編集委員会では、2021年8月に「投稿規定」と「執筆要項」を見直し、これらを改訂しました。詳細は、本ニューズレターに掲載の新旧対照表をご確認ください(改訂部分に下線を引いています)。

「投稿規定」と「執筆要項」の全文は、和文誌『計算機統計学』第34巻第1号、またはウェブページ

<https://jscs.jp/学会の活動/学会誌/和文誌/>

をご覧ください。論文投稿を検討されている会員は、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

◆投稿規定の新旧対照表

2021年8月改訂	2019年12月改訂
6. 論文等はすべて複数の査読者によって査読される。	6. 論文等はすべて査読者によって査読される。

◆執筆要項の新旧対照表

2021年8月改訂	2017年7月改訂
(2) 原稿の分量は、刷り上がり時において、 <u>原著論文</u> については	(2) 原稿の分量は、刷り上がり時において、論文については
(4) 提出ファイル中には、(中略)また、 <u>原著論文・総合報告</u> にあっては、	(4) 提出ファイル中には、(中略)また、論文・総合報告にあっては、
(5) <u>節、項</u> の番号のつけ方は、第1 <u>節</u> にあたるものは1.とし、第1 <u>節</u> 、第1 <u>項</u> にあたるものは1.1とすること。	(5) 章、 <u>節</u> の番号のつけ方は、第1章にあたるものは1.とし、第1章、第1 <u>節</u> にあたるものは1.1とすること。
(6) 数式は(中略)、 <u>節</u> を単位とした数式番号をつけること。	(6) 数式は(中略)、 <u>章</u> を単位とした数式番号をつけること。
(7) 参考文献は(中略)なお記載の順序は、 <u>和文文献と欧文文献を合わせて著者名のアルファベット順に記載</u> すること。	(7) 参考文献は(中略)なお記載の順序は、最初に欧文文献を著者名のアルファベット順に記載し、その後続けて和文文献を著者名の五十音順に記載すること。
(中略)	(中略)
例 1: Agresti, A. & Yang, M. C. (1987). An empirical investigation of some effects of sparseness in contingency table. <u>Computational Statistics & Data Analysis</u> , 5, 9–21.	例 1: Agresti, A. & Yang, M. C. (1987). An empirical investigation of some effects of sparseness in contingency table. <u>Comp. Statist. & Data Anal.</u> , 5, 9–21.

広報委員会からのお知らせ

◆ニューズレターでの広告掲載について

本ニューズレターでは広告の掲載を募集しております。広告掲載をご希望の会員は、渉外理事 (shougai@jcs.or.jp) までお問い合わせください。なお、ニューズレター以外の媒体(和文誌および計算機統計セミナー関連)の広告掲載に関するお申込・お問い合わせも、上記の e-mail アドレスにて随時受け付けています。

また、学会ウェブページ上 (<https://www.jcs.or.jp/>) において、バナー広告による広告掲載を行っております。こちらにつきましても渉外理事までお問い合わせください。なお、大会およびシンポジウムについては各大会の事務局へお申し込みください。

事務局からのお知らせ

◆会費納入のお願い

先日、会員の皆様には 2022 年度会費振込用紙を送付しました。会費の納入が滞ると学会運営に大きく影響しますので、忘れずに納入していただきますようお願いいたします。会費のお支払いは、下記の口座への振り込みのほか、クレジットカード払いも可能です。

詳細は会費振込用紙と一緒に送付した「会費納入のお願い」をご覧ください。なお、複数年にわたって滞納されますと、評議員会の議を経て除名されることがありますので、ご注意ください。

【口座名義両方とも】日本計算機統計学会

《ゆうちょ銀行》口座番号:00180-0-537374

《銀行》三菱UFJ 銀行 青山支店

普通口座: 5284324

◆高齢者会員の会費割引について

本会では、主として退職された会員を対象に会費割引の制度を設けています。

(1) 60 歳の誕生日を過ぎていること

(2) 会誌(和文誌・欧文誌)の配布を希望しないこと

の両方を満たす場合、お申出により会費が割引(7,000 円 → 2,000 円)となります。会費割引には評議員会での承認が必要となりますので、ご希望の会員はお早めに事務局にお申出ください。

◆2022 年度の新入会員の特典について

2022 年度に学生会員または賛助会員として新規に入会された新入会員は、入会特典を受けることができます。統計科学に関する研究を行っている学生の方がお近くにいらっしゃいましたら、ぜひこの機会に入会をお誘いください。

また、学会では賛助会員のために様々な形で計算機統計学に関する情報の提供・交換の場を設けています。会員の皆様には、統計科学とその周辺領域、コンピュータなどに関係のある企業・団体をお誘い、あるいはご紹介くださいますようお願いいたします。

入会特典の詳細につきましては、学会ウェブページの <https://jcs.jp/入会のお誘い/新入会員特典> をご覧ください。

◆会員情報の変更について

所属変更等をされた会員の方は、お手数とは存じますが、学会への変更の届出を忘れずにお願います。届出を忘れると郵便などによる学会からの連絡が届かなくなってしまうます。学生会員の方で今年就職をされた方は、今年度から正会員となりますので、必ず新しい所属・連絡先をお知らせください。

会員情報に変更のある会員の方は、学会事務局 (office@jcs.or.jp) 宛に電子メールで変更点をお知らせください。

ご理解、ご協力をいただけますよう、お願い致します。

◆休会制度、種別変更猶予制度について

本会では、休会制度および種別変更猶予制度を設けています。

「休会制度」は、会員に特段の事情が認められる場合、理事会の承認を経た上で、会員資格の停止とともに、会費を徴収しないことができることとした制度です。

「種別変更猶予制度」は、学生会員が学生としての身分を失い正会員に移行する際に、経済的事由などにより正会員として学会に所属することが著しく困難であると理事会で認められた場合、引き続き「学生会員」として所属できることとした制度です。

本制度は、年度単位で適用されます。希望される会員は、事務局までご照会ください。なお、本制度に関わる申し合わせは、

<https://jcs.jp/face/rules/kyukai.html> からご覧いただけます。

◆スタディー・グループ募集のお知らせ

2022年度のスタディー・グループを募集しています。スタディー・グループとは、計算機統計学およびその周辺分野から重点的な研究テーマを募集・選定し、そのテーマに関する研究活動(最大3年間)を奨励する制度です。評議員会で設置が認められると、学会から1グループあたり年間最大5万円の補助金を受けられます。スタディー・グループの設置を希望されるグループの代表の方は、必要事項を明記した設置申請書を学会事務局にお送りください(E-mail, FAX, 郵送いずれも可)。応募締切は4月29日(金)(必着)です。なお、スタディー・グループの概要および申請方法・様式等につきましては以下のウェブページをご覧ください。

<https://jcs.jp/学会の活動/スタディーグループ/>

広報委員会

(五十音順, *印は理事, +印は今号編集担当)

飯塚 誠也*(岡山大学)
石岡 文生(岡山大学)
大草 孝介(中央大学)
川崎 玉恵*(青山学院大学)
黒沢 健+(東京理科大学)
小泉 和之*(順天堂大学)
坂本 亘(岡山大学)
下川 朝有+(東京理科大学)
姫野 哲人+(滋賀大学)
弘 新太郎*(ファイザー(株))
藤野 友和*(福岡女子大学)
丸尾 和司(筑波大学)
山田 実俊(東海大学)
山本 由和(徳島文理大学)
山本 義郎(東海大学)

	日本計算機統計学会への入会のお誘い	
--	-------------------	--

日本計算機統計学会事務局

日本計算機統計学会では、随時新入会者を募集しております。会員の皆様の近隣で計算機統計学に興味のある方がいらっしゃいましたら是非入会をお勧めください。個人会員、賛助会員ともに入会いただくと、さまざまな特典があります。

2022年度の入会特典について

【対象期間】

2022年度（2022年1月1日～12月31日）

【対象者】

対象期間内に新規に学生会員または賛助会員として入会申込を行い、入会金・初年度年会費を納入した新入会員（入会金・初年度年会費の納入が確認された時点で特典の権利が発生します）

※賛助会員には入会金はありません。

<学生会員になられる方への特典>

本会の大会またはシンポジウムに、1回に限り無料で参加することができます！

<賛助会員になられる企業・団体への特典>

学会発行の論文誌、講演報告集、ニューズレターなどに企業広告を廉価で載せることができます！

入会特典についての詳しい内容は学会ウェブページをご覧ください。

<https://jscs.jp/入会のお誘い/新入会員特典/>

<お問合せ・連絡先>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル 5F
(公財)統計情報研究開発センター内 日本計算機統計学会事務局
TEL:03-3234-7580 (平日 9:30～17:00)
FAX:03-3234-7580
E-mail: office@jscs.or.jp
URL: <https://www.jscs.jp/>